



昨年度(平成29年度)森林総合監理士育成事業 技術者育成研修(ブロック研修)の概要

- 1.研修日程：平成29年10月2（月）～6日（金）
- 2.研修会場：ホテルサン人吉（熊本県人吉市）
- 3.現地実習：人吉市大畑国有林74ち林小班外
- 4.参加者：33名（内訳）
県職員 26名
市町村職員 1名
国有林職員 6名



➤ 研修目標

地域の森林の整備・保全及び林業の成長産業化を推進するため、森林・林業に関する広範囲な知識・技術、コミュニケーションや指導方法を現地における実践的手法で習得させ、市町村森林整備計画の作成や実行監理等が適切に実施できる森林総合監理士を育成する。

森づくり構想実習
現地踏査及び調査内容
とりまとめの様子



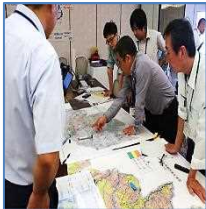
- 木材生産機能と公益的機能を調和させながら、科学的・技術的な知見と森づくりの思想・理念にそった森林施業・森林管理が基本であることについて理解を深める。



資源循環利用構想演習
グループワーク及び
発表準備等の様子



- 現地実習で確認した団地を対象として、10年間にわたる経営ビジョンを様々な観点から検討し、集約的かつ効率的な森林整備の戦略を策定し、地域の将来ビジョンを描き、プレゼンテーションを行う能力を養う。



資源循環利用構想演習
グループ別発表
ディスカッション
講評等の様子



- 10年間の間伐計画及び路網整備計画を含む総合的な森林整備の構想策定を通じて、市町村森林整備計画における木材生産を中心とした団地の中・長期的な森林・林業の経営ビジョンを構築するための能力を高める。
- コミュニケーション・プレゼンテーションの講義の内容を実践し、合意形成のための効果的なプレゼンテーションと建設的な議論を行うための能力の向上を図る。



この研修を通じて培った知識・技術を各地域において、広域的、長期的な視野を持って地域の森林経営 ビジョンを描き、中立的な立場で地域の関係者を指導する、地域の森林・林業の牽引者となって下さい！

